西河原小だより

平成 30 年 9 月 28 日(金)
茨木市立西河原小学校
校 長 前田 浩二

～一人ひとりが輝き、笑顔と学びがあふれる学校に～

1．あいさつをする。　2．しっかり話を聞く。
3．友だちを大切にする。　4．チャレンジする。
5．ルールを守る。　6． 夢や目標をもつ。

～気持ちを一つに協力して～

９月は台風の季節。あの台風２１号は、私たちがこれまでに経験したことのない台風の恐ろしさを与え、大きな被害をもたらしました。６月の地震から始まりこの３か月間でいろいろな自然災害がありましたが、そのひとつひとつを経験、乗り越え、秋の運動会、いよいよ明後日本番を迎えます。天候は心配ですが、これまでの練習の成果を発揮できるように、天候が好転することを祈るばかりです。（台風２４号の動きがすごく気になります）

今回の運動会の児童会目標は「気持ちを一つに協力して　みんなで運動会にしよう」です。「気持ちを一つに協力して」この言葉に子どもたち（児童会）の思いがつまっているんだなぁと感じます。西河原小学校は小規模の学校で、お互い顔もよく知っています。子どもたち同士が、毎日の集団登校（下校）やフレンドクラスでの活動など学年を越えてのつながりを大切にしています。日頃からつながっている実感が子どもたちにはあるんだと思います。今回のテーマもこの下地がある中で決まったのかなと感じます。子どもたちの一致団結した姿をどうか見守っていただきたいと思います。

さて、運動会後、休む間もなく１０/１７に６年生は連合運動会があります。市内６年生が全員、自己ベストをめざして様々な種目にチャレンジします。先生方も全員で応援します。ベストを尽くして頑張ってください。

運動会を終えた後、子ども達は日々の学習を大切に、校外学習、人権について学ぶ総合学習に取り組んでいきます。これらの学習の中で子どもたちが気づき学んだことはご家庭でも聞いていただけたらと思います。　　校長：前田　浩二





10 月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
	1 代休	2 要点監視	3 運動会予備日 放課後子ども教室	4 学校朝会 前期委員会最終 連運練習①	5 NET 連運練習②	6 地区体準備 学校協議会 校庭開放
7 地区 体育祭	8 体育の日	9 歯磨き指導(1年)	10 のびのびタイム 連運練習③ 放課後子ども教室	11 前期クラブ最終 連運練習④	12 NET 連運合同練習 (庄栄小)	13
14	15 読書タイム お話ボランティア(1～4年) 連運練習⑤ 要点監視・SC	16	17 連合運動会 放課後子ども教室	18 連運予備日①	19 NET	20 校庭開放
21	22 読書タイム 連運予備日②	23 参観懇談 (1～3年) 文体活動 (2､3 年)	24 のびのびタイム 放課後子ども教室 校庭開放	25 児童朝会	26	27 相馬芳枝 科学賞表彰式
28 夢ふれあいフェスタ	29 読書タイム 参観懇談 (4～6年) 文体活動 (5 年)	30 校外学習 (1～4 年)	31 のびのびタイム 放課後子ども教室			
			・連運練習(連合運動会練習)…放課後､6 年生が連合運動会の出場種目に分かれて練習をします｡(学年だよりを参照してください)			

《お知らせとお願い》



運動会 9/30（日）実施・中止の判断をして 7 時 30 分にメール配信いたします。
中止・変更の場合はよろしくお願いいたします。

- **9／30（日）は雨天でもお弁当がいります。予備日（10/3）は簡易給食です。**
- **10／７（日）西河原地区体育祭**にぜひご参加ください。よろしくお願いいたします。

《11 月の予定》

- ２日（金）校外学習予備日（１，２年生）
- ６日（火）５年生連合音楽会
- 10、11 日（土、日）総合展
- 12 日（月）心の劇場（6 年生）
- 20 日（火）校外学習（5 年生）

・６年生連合運動会　１０月１７日(水)

（会場は庄栄小学校、詳細については学年だよりを参照してください。）
200m 走、800m 走、1500m 走、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、60m ハードルから 1 種目と 100m 走、表現運動で出場します。

ゲームのやりすぎ「病気」に

WHO が国際基準見直し

ゲームがやめられず、日常生活がしにくい状態について、世界保健機関（WHO）が新しい病気として位置づけようとしています。ゲームとの付き合い方に注意が求められています。

ゲームにのめりこみすぎて学校に行けなくなった中学生がいます。神奈川県の中学３年生は昨年秋から、スマートフォン用のアプリや家庭用ゲームにのめりこんで学校を休みがちになり、食事をとらず、お風呂にも入らずに明け方までゲームをつづけました。今年７月、お母さんに連れて行かれた病院で「ゲーム依存」と診断されました。

生徒が通う久里浜医療センター（神奈川県）は、国内で初めてインターネット依存を専門に診察と治療を行う部門を設けました。この生徒は「病気とは思わなかった。このままじゃまずいと思っている。」と語りますが、ゲームをしたいという気持ちは消えていません。

夏休み明け休む子も

大阪市立大学病院医師の片上素久さんによると、夏休みの間にゲームに夢中になって生活リズムが乱れ、新学期に登校できなくなった中高生の受診が急に増えるそうです。片上さんは「１０代は人生の大事な時期で、ゲームがやめられないのは『自己責任』では済まされない。保護者をはじめ大人が真剣に取り組むべきだ」と指摘します。

WHO は今年６月、死因や病気の国際的な共通基準を改め、ゲームに依存して日常生活にさしさわりが出る「ゲーム障害」を新しい病気にすると発表しました。来年５月の WHO 総会で採択されると正式に決まり、２２年に発行します。病気として認められれば治療や対策が進むことが期待されています。

WHO の「ゲーム障害」診断ガイドライン概要

！ゲームの頻度やプレー時間などのコントロールができない。

！日常生活や他の関心事よりゲームを優先する。

！（人間関係や健康などで）問題が起きてもゲームをやめない

毎日小学生新聞９月４日号引用





応援合戦　４、５、６年の応援団が中心となって全校児童による応援合戦の練習をしました。赤・白組の声で体育館は熱気に包まれました。





開会式・閉会式　入場や退場、表彰式などの練習をしました。本番が楽しみです。

児童会種目あいにくの雨でしたので、形式だけの練習となりましたが、皆一生懸命です。